

〔国際会議開催〕

申請者	東京大学 生産技術研究所 准教授 岩本 敏	2175002
国際会議名称	第 22 回微小光学国際会議 (The 22 nd Microoptics Conference, MOC2017)	
開催期間	2017 年 11 月 19 日～22 日	
開催場所	東京大学駒場リサーチキャンパス 生産技術研究所 An 棟コンベンションホール, 先端科学技術研究センター ENEOS ホール (東京都目黒区)	
申請者の役割		

概 要 :

微小光学は、情報の取得から伝送、蓄積に関する技術の根幹となる光学素子・システムの小型化、高効率化、高機能化に大きく貢献してほか、計測や照明・表示などの分野でも重要な役割を果たしている。MOC2017 開催の目的は、微小光学素子の基礎、それらを用いたシステム及び関連する光学現象・デバイスについて、最新の研究成果に関する発表と議論の場を提供し今後の方向性などを討論することである。同時に、当該分野の研究者に国を超えた議論・交流の場を提供し、将来の国際交流・連携の芽を育むことも目指している。

本会議では、2017 年は第一回 MOC から 30 周年となることをうけ、初日に 30 周年記念シンポジウムを開催した。微小光学の誕生とその歴史、微小光学の重要分野の幾つかについて、基礎と発展の経緯が裏話も交えて紹介され、当該分野の研究者だけでなく、学生や新たに微小光学研究に取り組もうとする者にとっても大変有意義なものとなった。また、特別セッション「Vehicle Microoptics for Autonomous Driving」では微小光学の自動車自動運転への応用の可能性が議論され、4 件の招待講演とともに活発な議論がなされた。基調講演、招待講演を含めて 167 件の講演が行われ、微小光学分野における最新の研究成果が議論された。全講演のうち、海外機関から発表は 66 件で、国内機関に所属する留学生も多く登壇した。また、参加者は 250 名で国外からの参加者は 71 名と、国際性の高い会議となった。学術講演のほか、conference party などのイベントも開催するなど、研究者間の交流の場を提供することもでき、当初の目的が充分達成された。